

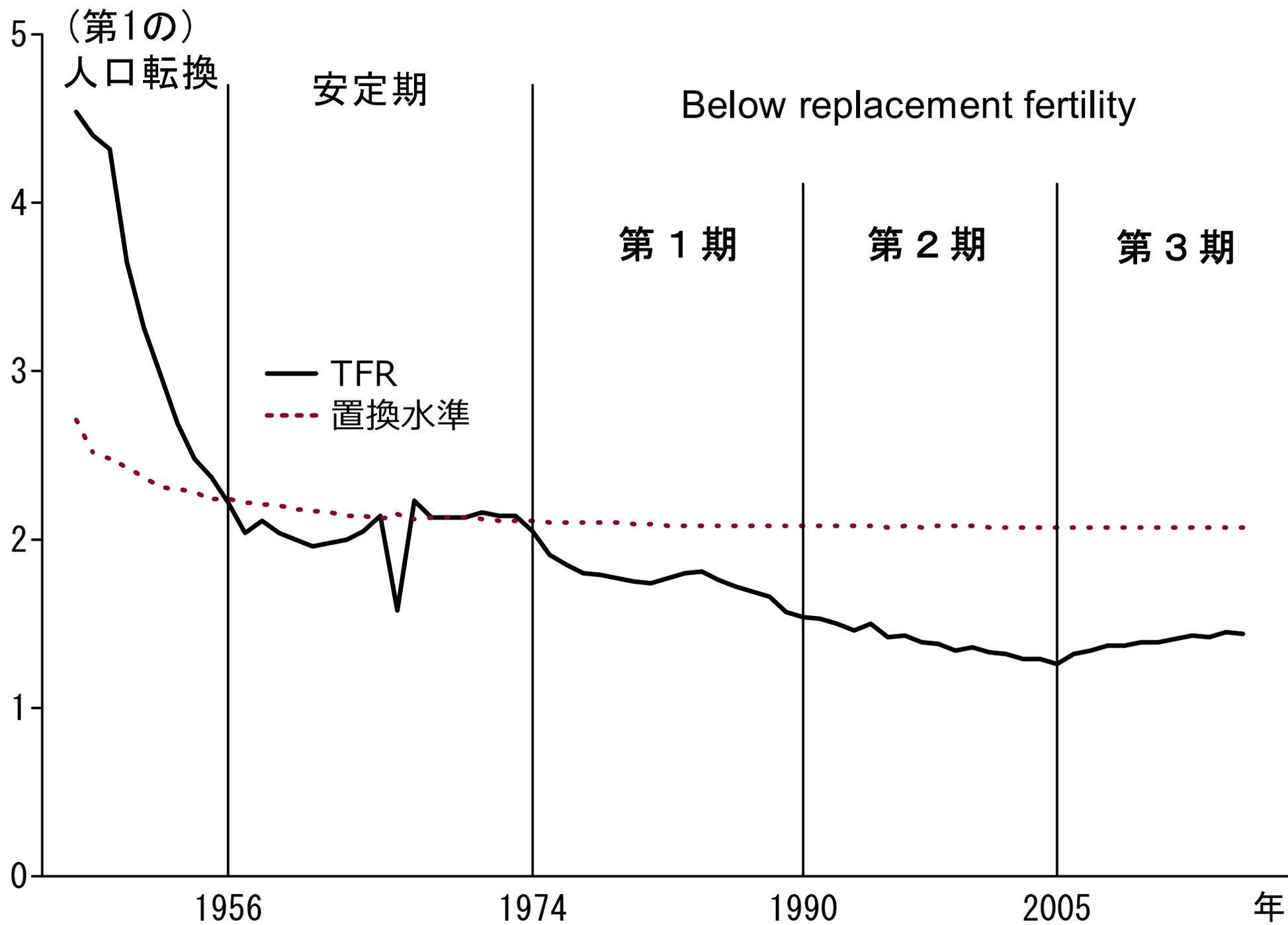
東北大学文学部 2020 年度 1 セメスタ

人文社会序論「現代日本学入門」 2020-07-30

第 14 回 日本学の実践 (5)

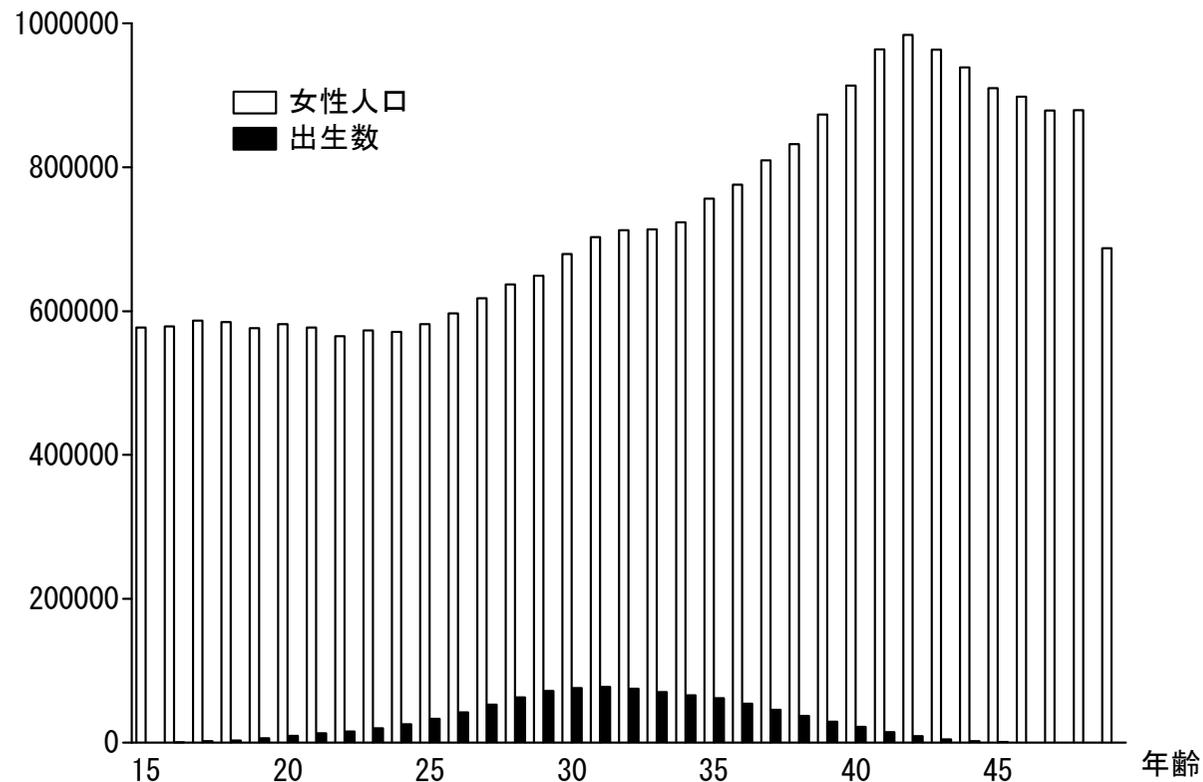
田中重人

(東北大学文学部准教授)



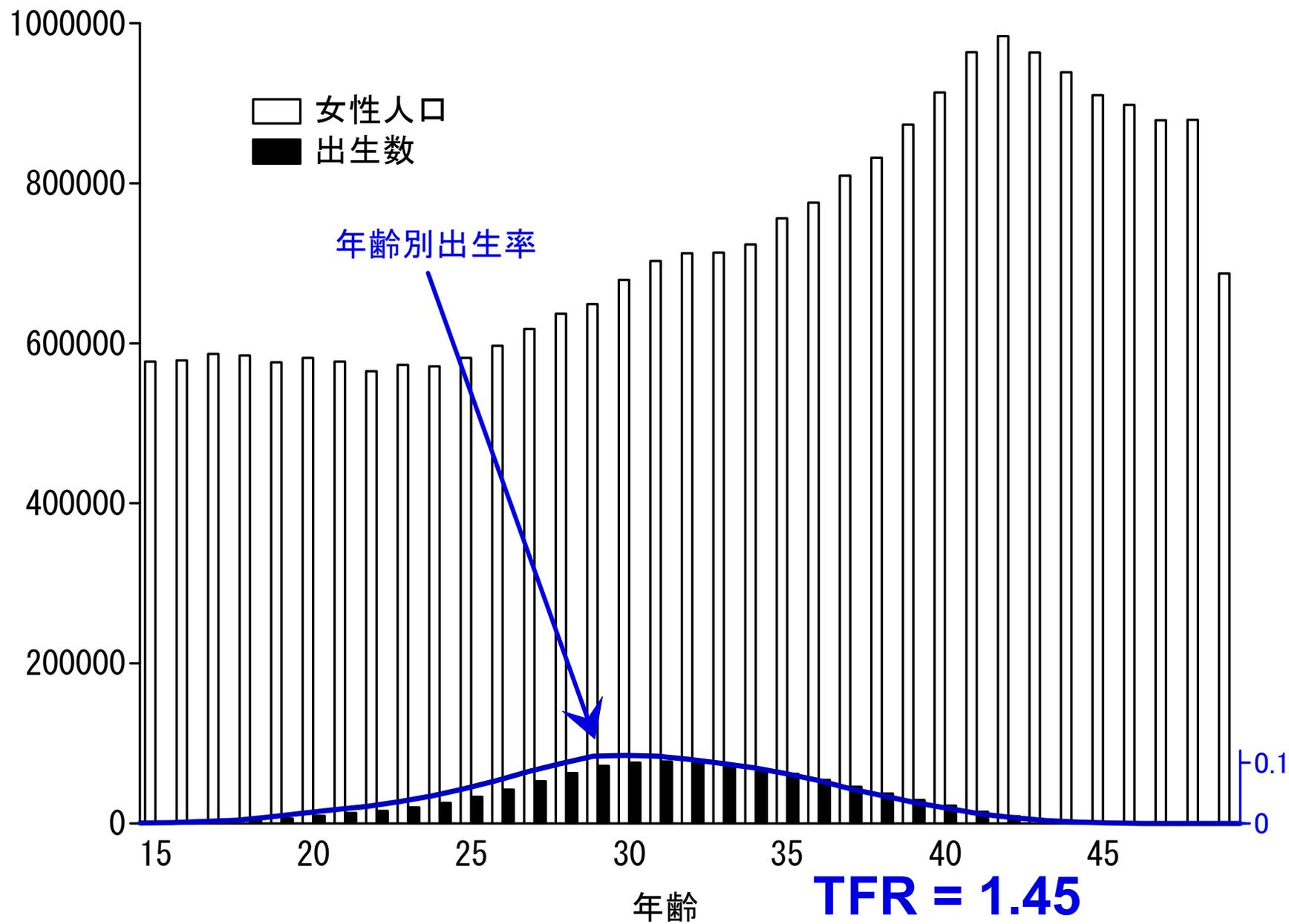
TFR とは

2015 年の年齢別の女性人口と出生数

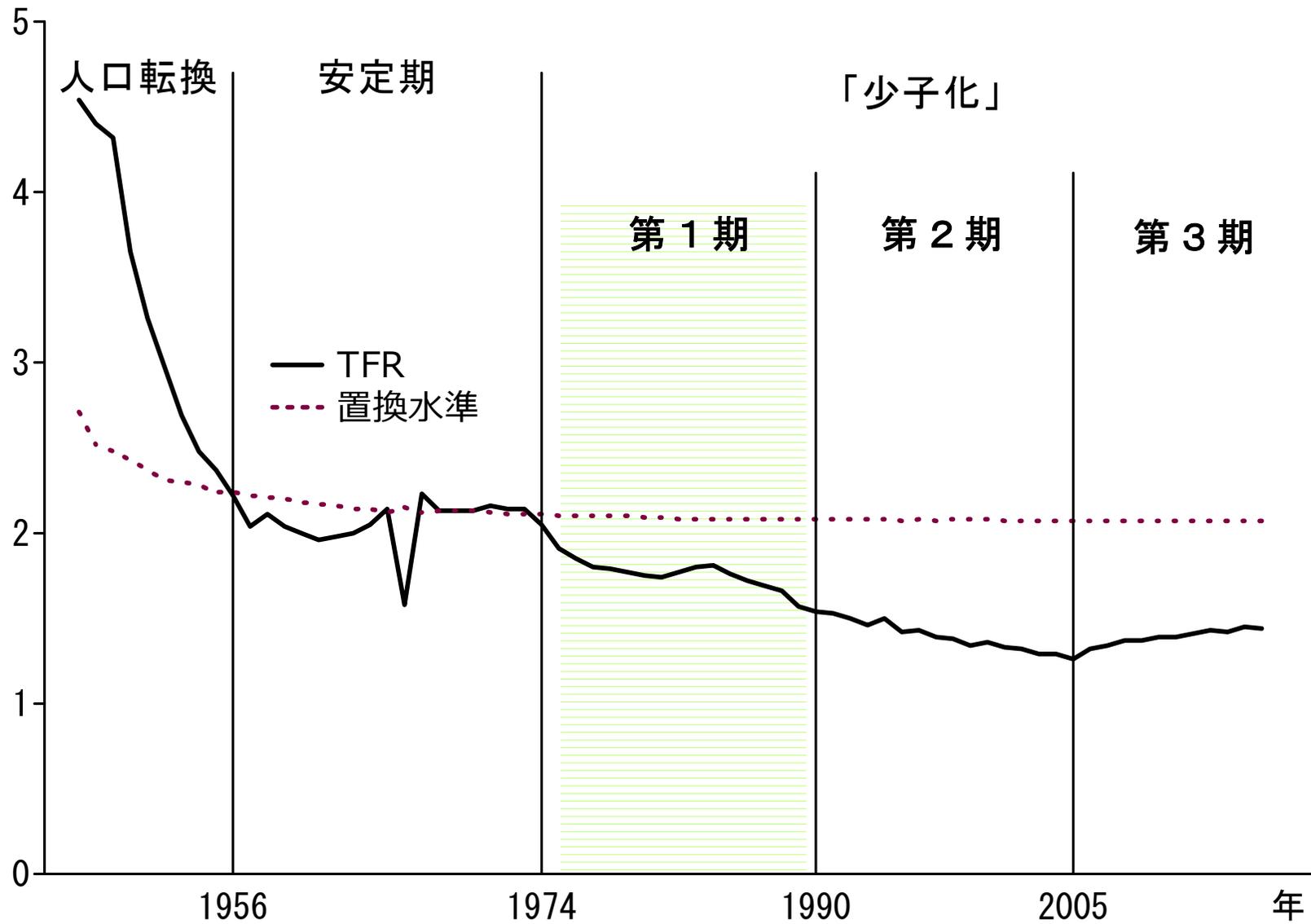


国立社会保障・人口問題研究所 (2017) 『人口統計資料集 2017』

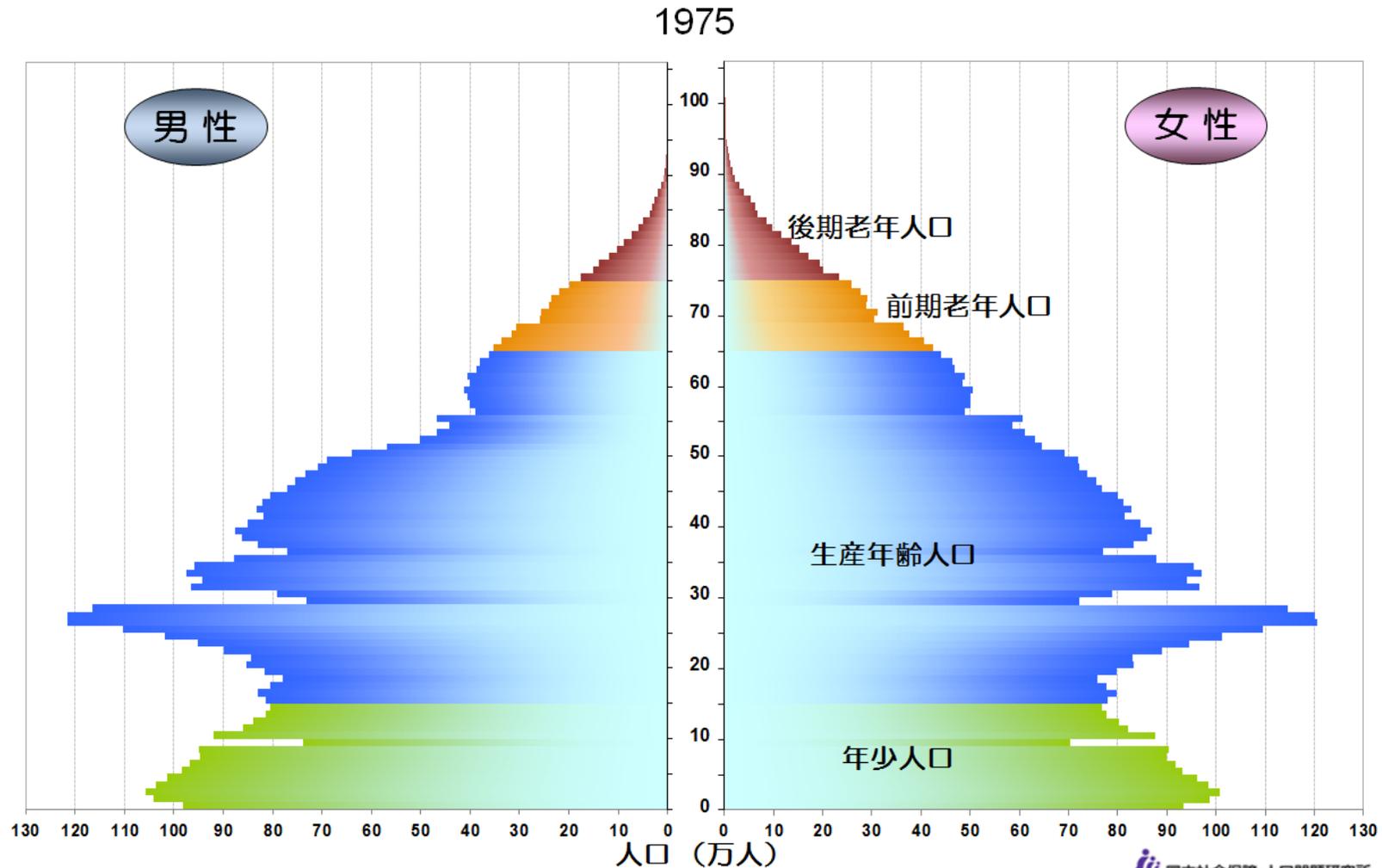
<<http://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/Popular2017.asp?chap=4>>



第 1 期 (1974-1989)



団塊の世代と結婚難



資料：1965～2015年：国勢調査、2020年以降：「日本の将来推計人口（平成29年推計）」。

国立社会保障・人口問題研究所

<http://www.ipss.go.jp/site-ad/TopPageData/1975.png>

人口学的言説の変遷

一時的結婚難 (1970 年代)



晩婚化 (1980 年代前半)

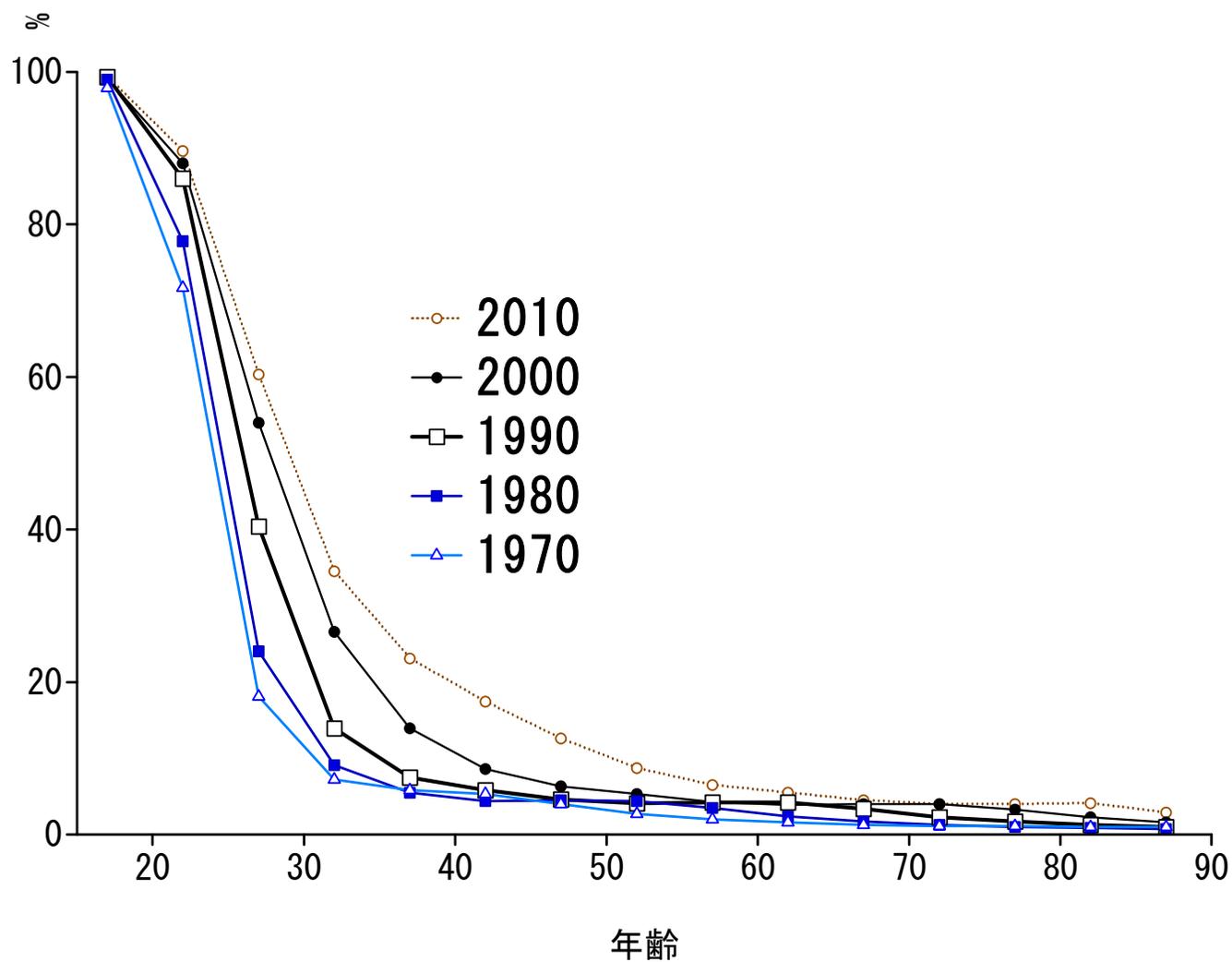


未婚化 (1980 年代後半)

阿藤 誠 (1994) 「未婚化・晩婚化の進展」 『家族社会学研究』 6: 5-17.

<doi:10.4234/jjoffamilysociology.6.5>

年齢別未婚者割合の変化



国立社会保障・人口問題研究所 (2018) 『人口統計資料集 2018』

時代的特徴

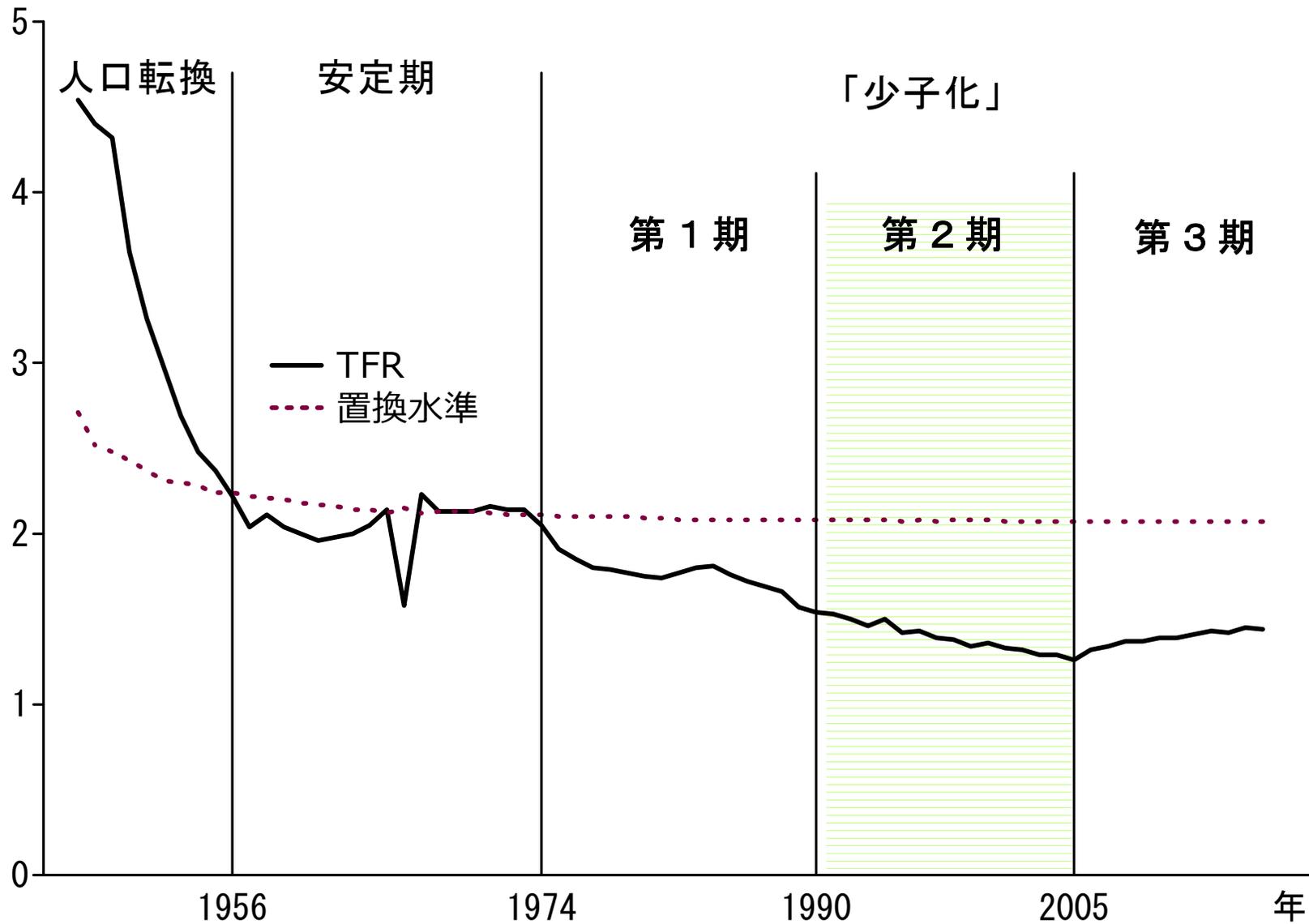
- 低成長 → バブル
- 「日本型福祉社会」論
- 行政改革と小さな政府志向
- 「女性活用」論
- 女性差別撤廃条約批准
- 労働者派遣事業法
- オーバーステイ労働者

人口学的解釈

晩婚化→出生タイミングの遅れ

→ **短期的な変動にすぎない?**

第 2 期 (1990-2004)



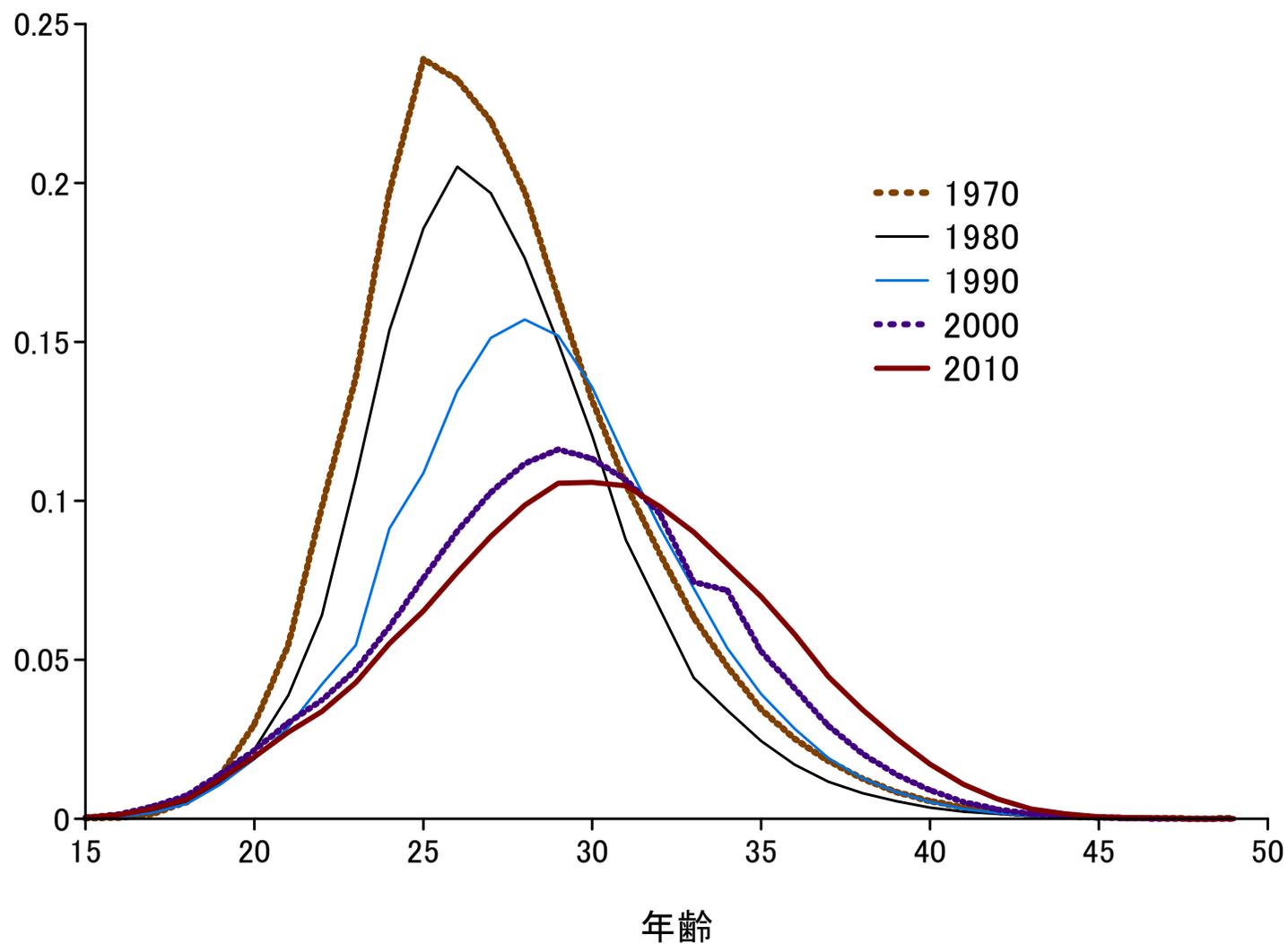
人口学的特徴

- 未婚化による出生力低下
- 有配偶出生率は一定
- 30代の出生率が増えない

国立社会保障・人口問題研究所 (2018) 『人口統計資料集 2018』

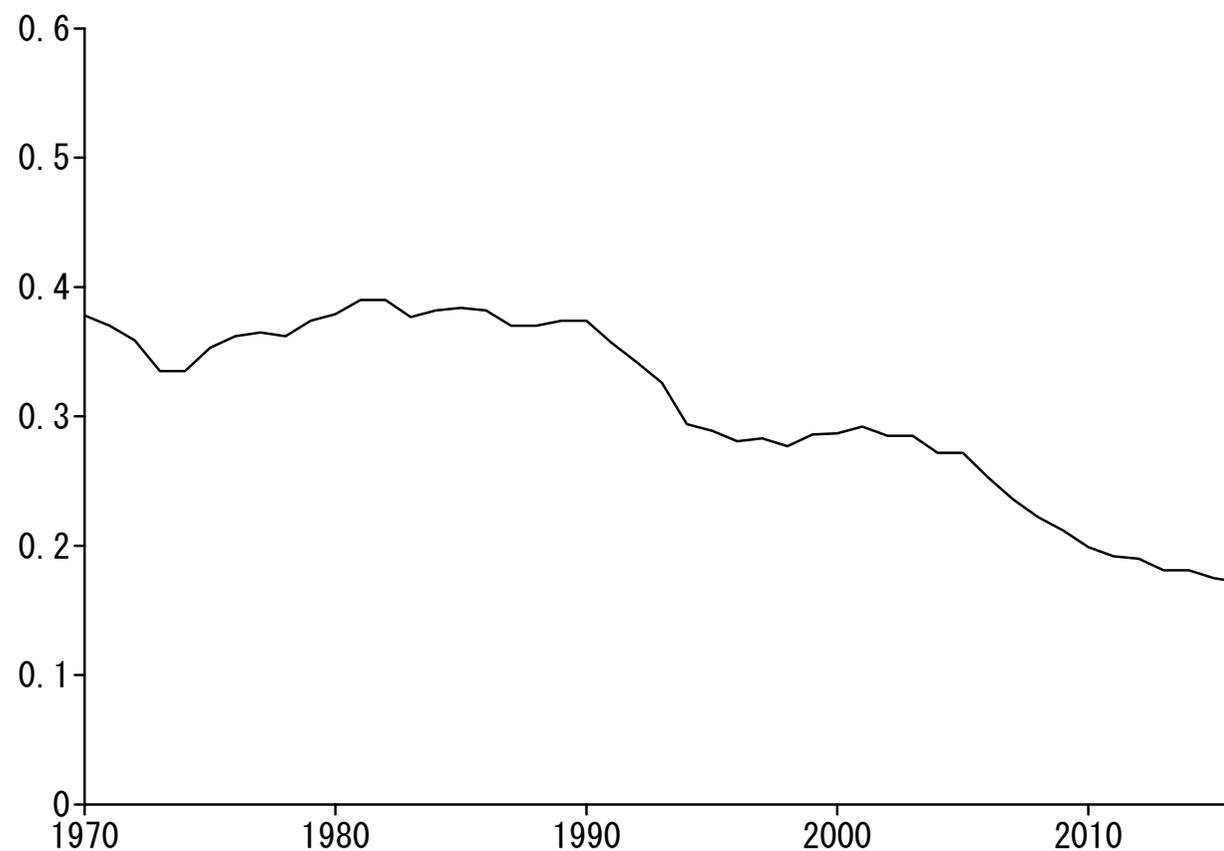
<<http://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/Popular2018.asp?chap=4>>

女性年齢層別の出生率：1970-2010



妊娠先行型結婚の増加と中絶の減少

人工妊娠中絶／出生数の推移

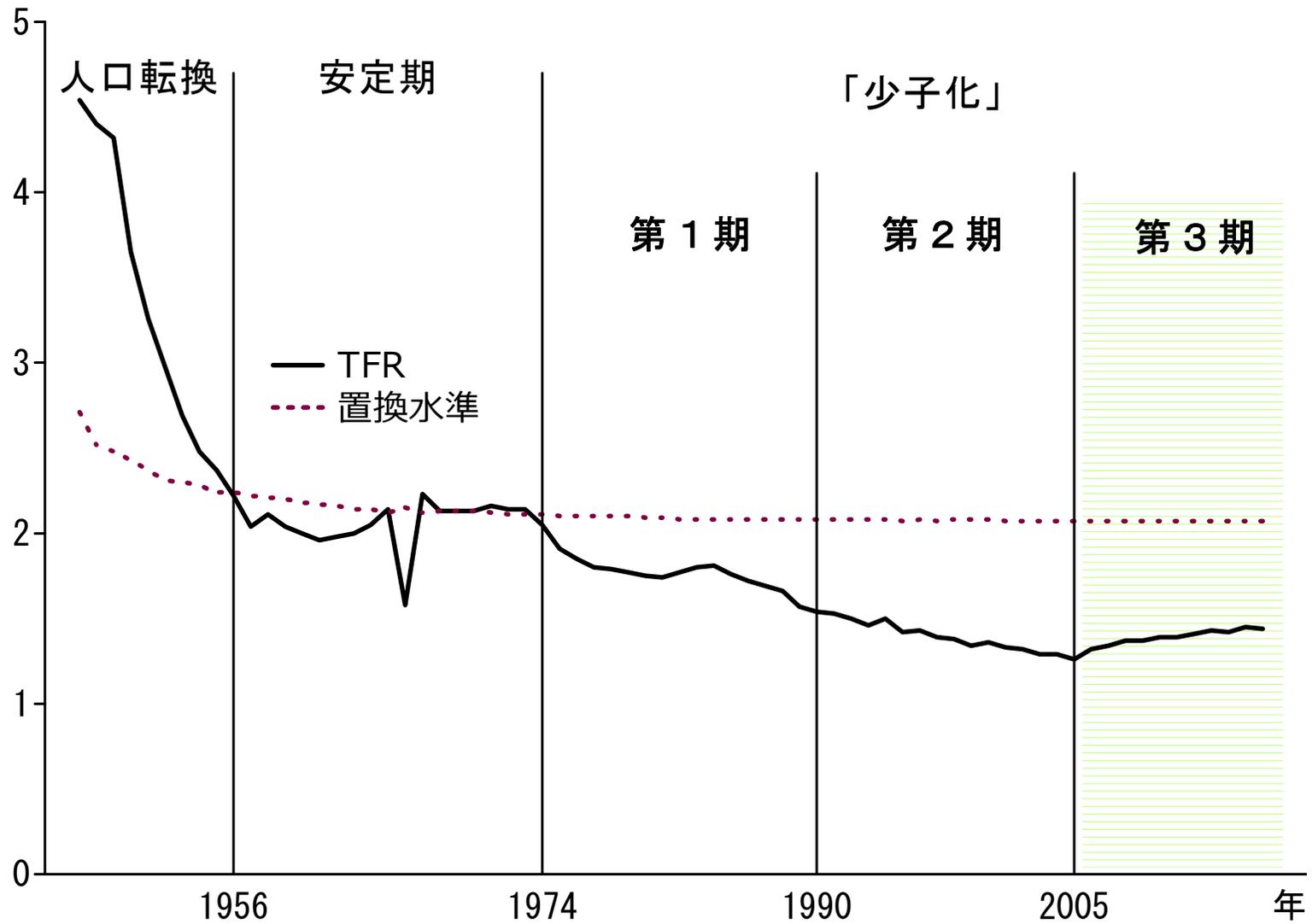


国立社会保障・人口問題研究所 (2018) 『人口統計資料集 2018』

政策による出生力再上昇の期待

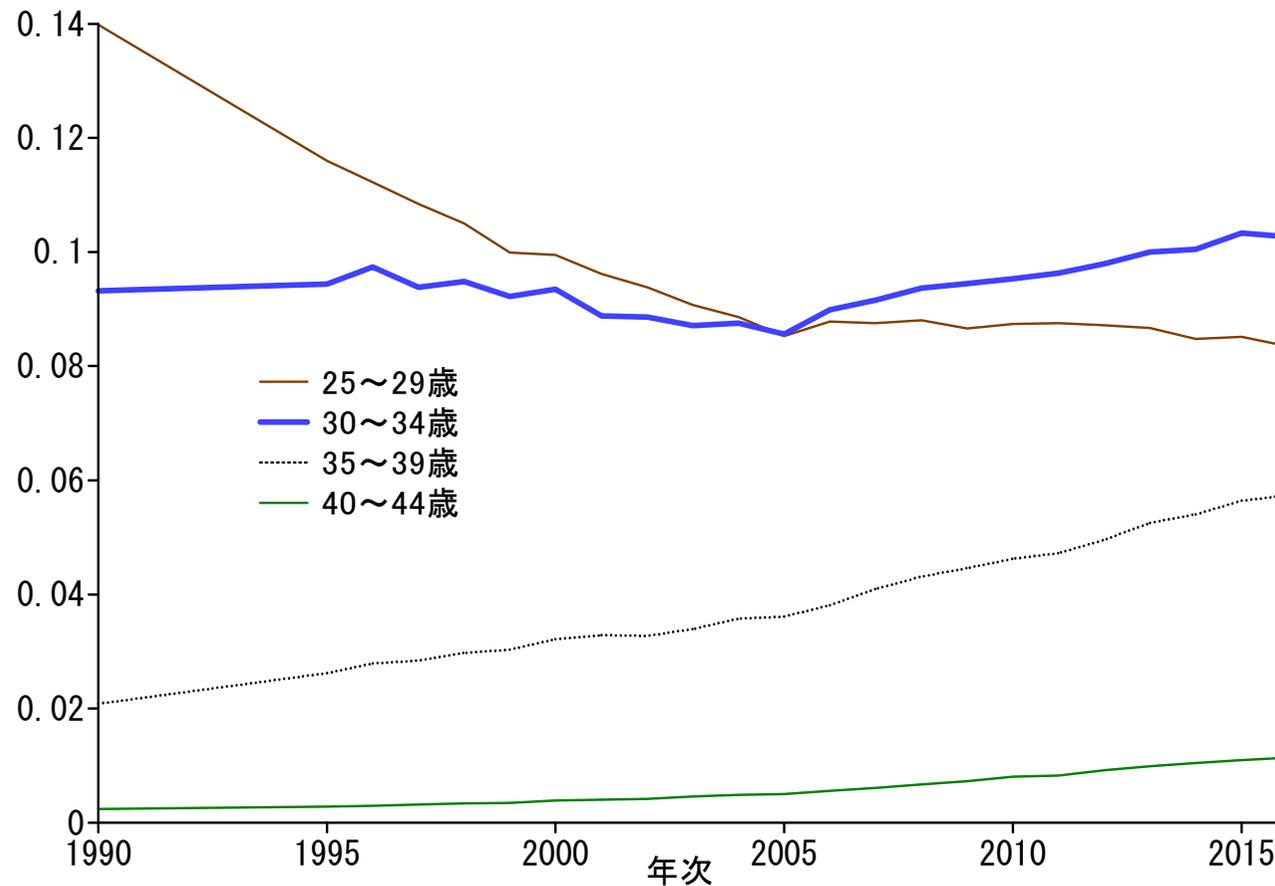
- 遅い出生タイミングへの移行
- 若者の選択肢の多様化
- 「女性の社会進出」論
- スウェーデン・モデル

第3期 (2005-)



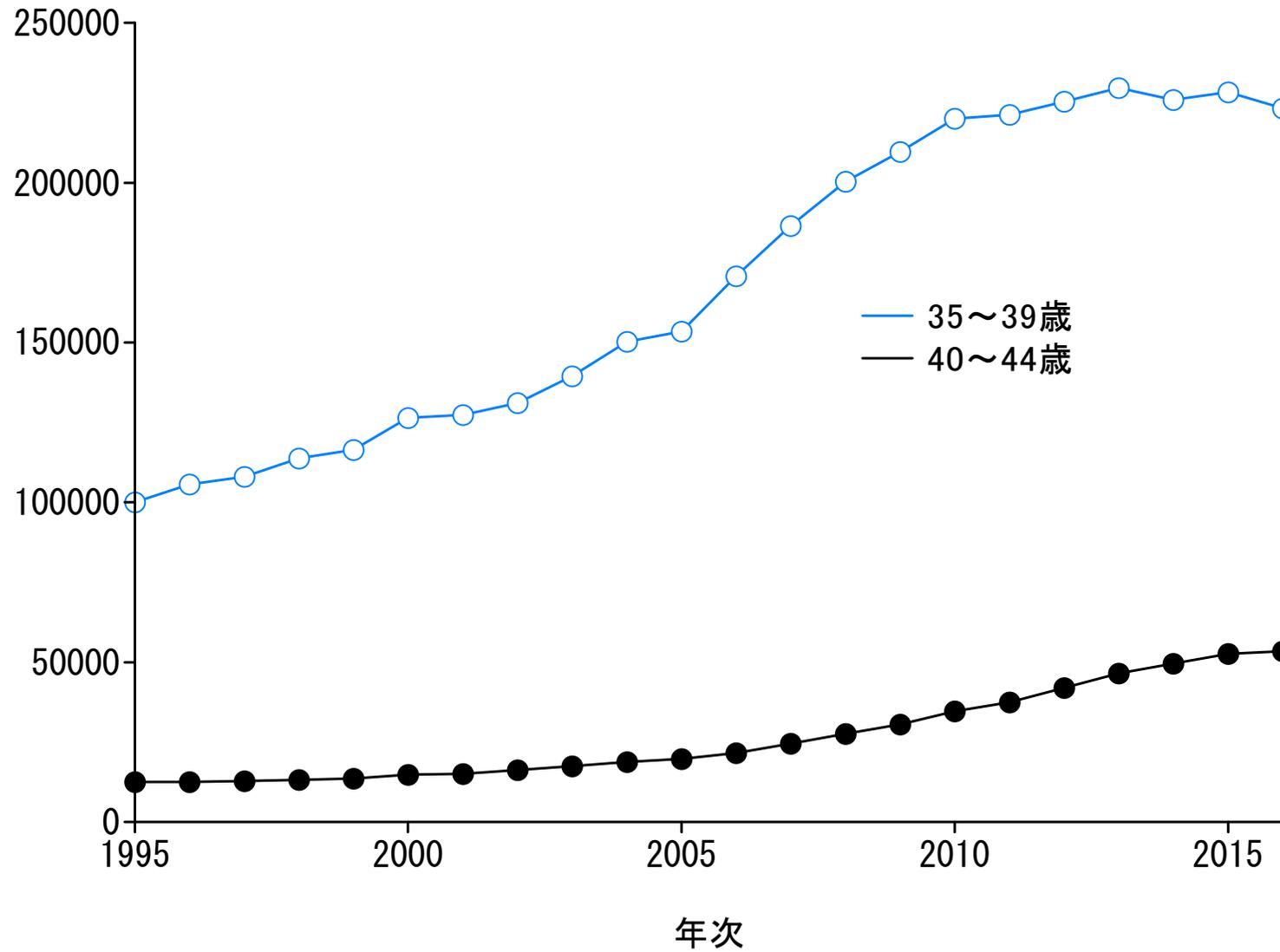
30代以降の出生の増大

年齢層別の出生率



国立社会保障・人口問題研究所『人口統計資料集』2007, 2018年版。『人口問題研究』各年。

母親年齢層別の出生数



国立社会保障・人口問題研究所『人口統計資料集』2007, 2018年版。『人口問題研究』各年。

政治的言説の特徴

- 晩婚化の実質的効果
(遅い結婚 → 少ない子供数)
- 早婚奨励策
- 若者の困難と未婚化
- 「婚活」 「妊活」 「草食化」

「地方消滅」論

過疎化とコミュニティ存続危機



「少子化対策事業」化